

【令和3年度】指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート

施設名	吹田市立亥の子谷デイサービスセンター	所管部室課名	高齢福祉室
所在地	吹田市山田西1-26-20	設置年月日	平成11年5月1日

1 施設の概要

(1)設置目的	高齢者の福祉の向上及びその介護者の負担の軽減を図る。		
(2)規模、開館日等	【規模】 延べ床面積 482㎡ 定員数 27人	【開館日等】 開館日 月～土曜日午前8時～午後6時 休館日 日曜日、年末年始	

2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	社会福祉法人 こばと会					
(2)指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日					
(3)選定方法	公募					
(4)指定管理者が行う業務内容	・通所の方法による入浴、食事の提供、機能訓練、介護方法の指導その他のサービスの提供に関する業務 ・利用の許可に関する業務 ・利用料金の設定及び徴収に関する業務 ・施設及び附属設備等の維持管理に関する業務					
(5)指定管理者の収支		令和2年度		令和3年度		
		計画	実施結果	計画	実施結果	
	収入	介護報酬等 (円)	66,446,000	60,201,204	60,209,000	60,624,433
		その他 (円)	546,000	6,193,799	4,931,000	4,744,638
		合計 (円)	66,992,000	66,395,003	65,140,000	65,369,071
	支出	管理経費 (円)	65,982,000	64,812,665	64,169,000	60,202,815
		その他 (円)	0	0	0	1,077,839
合計 (円)		65,982,000	64,812,665	64,169,000	61,280,654	
収支差額 (円)	1,010,000	1,582,338	971,000	4,088,417		

3 施設の利用状況

利用状況を示す指標		令和2年度		令和3年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	延べ利用者数 (人)	7,318	6,957	7,318	7,173
2	稼働率 (%)	88.0	83.9	88.0	88.0

4 利用者ニーズの把握の状況

(1)把握方法	投書箱の設置、利用者アンケートの実施、利用者との日々の会話等で把握している。また、利用者アンケート内に「生活の中での困りごとや悩み」を記入する欄を設け、家族からのニーズを把握できるよう工夫していた。
(2)把握結果	サービスにおおむね満足する声をいただいている。 一方で、利用者アンケートでは、接遇や食事に関するマイナスの声があった。家族からは、自宅でできる身体機能の低下の予防法はないか、送迎の時間は変更可能か、という声があった。
(3)結果を受けての対応状況	利用者の要望等に対し、できる限り迅速に対応している。利用者アンケートで把握した声は、すぐに解決策を見出し、職員間での指導や利用者対応の変更等、迅速に対応している。また、家族からのニーズについても、内容に応じてアドバイスや提案を行い、介助者の負担を減らすよう努めている。

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	送迎範囲に支障がなく、曜日に空きがあれば、可能な限り広く利用者を受け入れている。利用者には、秘密保持について利用開始時に重要事項確認書で確認し、また、重要事項確認書だけでなく、個人情報利用目的や苦情申出窓口の設置に関する案内を、いつでも閲覧できるように施設に掲示し、風通しの良い利用環境を整えている。
(2)施設の効用の発揮	利用者のできる範囲で、レクリエーションや施設内の作業について役割分担しており、施設職員の後押しを受けながら、利用者が作業をやり遂げることで、自信や達成感に繋げている。また、利用者の過去のキャリアから、施設での活動や趣味に繋げられるヒントを見出し、より利用者の取り組みやすい役割を検討している。 施設の壁にクイズや利用者の目標を掲げることで、施設の利用促進、利用者の達成感、「自分も頑張らないと」といった利用者同士の健康に向けて高め合う作用に繋げている。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	法令を遵守した人員体制となっている。また、多彩な内容の研修を実施し、職員の能力向上を図っている。 財政面に関しては、昨年度に比べ、施設でのコロナ発生や利用自粛による減収、支出額の増大があったものの、事務費削減等に取り組むことで収支を黒字に保っており、施設を安定的に運営できている。
(4)施設の管理経費の縮減	両面印刷、裏紙の使用、照明の間引き、消灯の徹底、洗濯回数の削減、自然乾燥による乾燥機の使用頻度の縮減、低燃費に留意した車両更新を実施している。
(5)その他	マニュアルが多岐にわたり整備されており、職員間での共有・指導が行き届いている。また、地域連携・地域貢献に積極的に取り組んでいる。具体的には、職業体験の受入れ、火災時の避難者支援、送迎時の防犯パトロール等を実施していた。 毎月発行される亥の子谷デイだより、施設HPは見やすだけでなく、施設での活動内容、雰囲気がよく分かる。
(6)総合評価	協定書等をおおむね遵守し、施設の管理運営を行っていた。休業や利用自粛による減収があったものの、事務費削減に取り組み、高質なサービスを提供しつつ、安定した管理運営を実施できた。また、地域連携・地域貢献の取り組みについても、指定管理申請書に記載の事業のほか、積極的に取り組み、当初提案していた事業をすべて実施することができた。 今後の指定管理期間で、募集要項に記載している加算の取得、社会福祉法人軽減事業を実施されたい。